

## 【平成23年度 授業改善推進プラン】

### 板橋区立西台中学校

#### 【国語】

■生徒の状況	漢字の学習には積極的な生徒が多いが、知識の定着化に意欲的でない生徒がいる。考える力をつける学習にもやや消極的である。
■指導についての課題	学習課題に一人一人が意識して取り組めるよう工夫する。自分の考えと他の人の考えを比較検討できるような場を設ける。
■授業改善に向けての具体的な方策	漢字習得や言語知識など意欲を持ちやすい課題を設定し、意識づけと知識の定着化を図る。考えを発表しあう授業を工夫する。

#### 【社会】

■生徒の状況	関心意欲が高い生徒もいるが、社会体験の機会が少なく知的好奇心が希薄な生徒は、集中力が持続しにくい。
■指導についての課題	学習環境を整え、生徒の集中力を高め継続させる。指導内容の重点化(基礎基本と発展内容とのバランスをとる)。
■授業改善に向けての具体的な方策	基礎基本の定着。知的好奇心を喚起する資料の提示や板書・発問と展開を通して、集中力を向上させる。

#### 【数学】

■生徒の状況	意欲的に取り組む生徒が多い。基礎・基本が定着していない生徒から高度な問題に取り組む生徒まで幅広い層がある。
■指導についての課題	学力差がある現状の中で、生徒一人一人がより能率的にかつ興味関心を持って数学の課題に取り組む。
■授業改善に向けての具体的な方策	小テストを繰り返し行い、基礎・基本の定着を図る。目で見て分かるような教材を用意し、視覚的に理解できるような授業を心がける。

#### 【理科】

■生徒の状況	意欲的に取り組む生徒もいるが、科学的・論理的に考えることに慣れていない生徒がいる。
■指導についての課題	簡単な演示実験なども行い、理科への興味を高めさせる。 自分の考えを発表させる機会を多くする。
■授業改善に向けての具体的な方策	実験や観察を通して、自分の考えをまとめ発表しあう中で科学的な考え方を培っていく。

	小テストなどで、これまでをふりかえり、基礎・基本が身に付くよう繰り返し学習させる。
--	---

### 【音楽】

■生徒の状況	多くの生徒が意欲的に授業に取り組んでいる。
■指導についての課題	創意工夫して表現する能力、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自己の表現意図を曲想とかかわらせるなどして、試行錯誤しながら創意工夫して表現させる指導を工夫する。</li> <li>・多様な音楽を取り上げて、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取り、音楽の特徴を、その背景となる風土や文化、歴史と関連付けるなどして鑑賞するように工夫し、指導する。</li> </ul>

### 【美術】

■生徒の状況	美術作品の制作に関しては、集中して熱心に取り組む生徒が多く見受けられるが、その反面美術に関する知識の理解・関心、特に鑑賞の分野においては、まだまだ十分でないのが現状である。
■指導についての課題	美術授業の重要な指導の一つである作品の構想や発想段階での指導は、生徒個々への指導が重要であると考え、一斉授業での個別指導の方法やその工夫が大きな課題であると考え。
■授業改善に向けての具体的な方策	集中した中での制作意識の育成ということで、まず毎回の「クロッキー」の実施を大切にしたい。また学期ごとに取り組ませる、段階ごとに積み重ねていく作品制作を通して、計画的に作品を造り上げていく体験を味わわせることで、美術作品だけでなく、ものづくりやプレゼンテーション、その他多くのプロジェクトに向けての取り組み方を学習するための授業展開を心掛けたい。

### 【保健体育】

■生徒の状況	運動に意欲的な生徒が多く、積極的に授業に参加しようとする意識が高い。一部、運動嫌いや集団行動が苦手な生徒がいる。保健分野に関しては、実技に比べて、意欲的でない生徒がいる。
■指導についての課題	運動嫌いの生徒に対して、明確な目標をもたせ、技能の習得に向けての練習を意欲的にできるように授業を展開する。保健分野に関しては、生徒に興味・関心をもたせるように、授業展開を工夫する。
■授業改善に向けての具体的な方策	話を聞く態度は、概ねできているので、授業での技術習得の目標を習熟度別に設定し、運動が苦手な生徒でも、意欲的に授業に取り組める展開に努める。

【技術・家庭】

<p>■生徒の状況</p>	<p>(技)製作に意欲的に取り組む生徒が多い。安全に留意して作業を進めようとする生徒が増えている。自身の生活との関わりについて考える意識が弱い。</p> <p>(家)多くの生徒が意欲的に取り組んでいるが、学んだことを自分の生活で活かせていない。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>(技)製作に関して、安全かつ正確な作業を身に付けられるようにしたい。製作や実習を通して、身近な生活とそれを支える技術についての理解を深めさせたい。</p> <p>(家)授業で学んだことを自分の生活に活かす姿勢を身につけさせる。生活の中の課題を自ら見つけ、解決出来る力を育む。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>(技)掲示物・写真・映像等を使って、基本的な作業の手順を十分に提示する。プリントやワークシートも、書いて技術のしくみを理解できるような内容を多く取り入れる。</p> <p>(家)中学生の1日分の献立を考えさせるなど、自分の生活と結びつけて考えられるような題材設定をする。生徒が考えやすいように発問の仕方を工夫する。</p>

【外国語】

<p>■生徒の状況</p>	<p>意欲的に取り組む生徒が多いが、基礎学力が不足している生徒もいる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>基礎的な部分の補充を行いながら全体のレベルアップを図る。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>スペリングコンクールなどをとおして単語力を付けさせる。普段の授業では常に基本的な部分を理解できるようにプリントを工夫し、個人や全体にはたらきかける。</p>

【総合的な学習の時間】

<p>■生徒の状況</p>	<p>○素直で明るい生徒が多く、積極的に取り組んでいる。</p> <p>○活発で行事や部活などに積極的に取り組んでいる。</p> <p>○自ら課題を見つけ、解決し、よりよい生活をつくっていこうという姿勢を育てる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>伝統文化・国際理解や環境及び仲間との関わりを通して将来を見つめ、自分自身で生き方を考え、社会と積極的に関わる意識を高め、進路決定の力を育成する。</p>

<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>1 年間計画を作成し、学年の発達段階に応じ、計画的に指導する。</p> <p>＜伝統文化・国際理解・環境学習・生き方学習（進路への取り組み）＞</p> <p>2 ガイダンスを充実させ、各自の目的意識を高める。</p> <p>3 「生き方」に関わる体験的学習の場を計画的に設け、体験の中で学ばせる。</p> <p>4 職場体験・職業調べや旅行的行事等のねらいに「生き方」に迫る目標を設定し、行事や特別活動と総合的な学習の時間を密接に関連させる。</p> <p>5 地域・保護者・外部機関との連携を深め、学校の枠を超えたダイナミックな学習の場を設定する。</p>
-------------------------	--

○ その他(言語活動の充実等)

#### 言語活動の充実

・国語科において「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」のそれぞれに記録、要約、説明、論述といった言語活動の充実を図る。

また、各教科においては、それぞれの各教科等の目標を実現する手立てとして、知的活動(論理や思考)やコミュニケーション、感性・情緒の基盤といった言語の役割を踏まえて、言語活動の充実を図る。